

第2回 府立北摂つばさ高等学校 学校運営協議会 会議録

日 程：令和4年10月31日（月）14：30～17：00

場 所：本校会議室

委員出席者（五十音順、敬称略）

足立委員、長田委員、塩見委員、田中委員、中山委員

事務局出席者

田中（校長）、坪内（教頭）、高本（事務長）、佐藤（首席）、美濃（首席）、山下、渡、松原、鈴木、國府、奥、日高

<報告事項>

- 校長挨拶：・文化発表会（9/30）は不安で満足できない状況下、概ね実施することができた。
- ・中3生の本校入学希望者が少ないとの情報のなか、オープンスクールに向けて最大限に魅力発信したい。
 - ・「笑顔の絶えない学校づくり」に向けていきたい。

○委員 ●事務局

<協議事項>

1. 授業力向上（本日の授業見学）について

- 美術領域（初めてのデザイン）、工芸領域（初めてのステンドグラス）
美術工芸表現の選択コースは、アートに重点を置くことで学ぶことがある。
直接、大学進学に特化することなく、一つの作品を通じて学術を深めていくスキルを育てることができれば、いろんな進路で応用ができると考える。
- 1年 現代社会「公共」・・・身近なところの価格の設定・変動について
グループワークによるプロジェクターでパソコン集約共有、意見交換する。
生徒自身が答えを導き出すことに重点を置く。

◎感想について

- 考える力を身につけ個性ある学びを進めるところに興味あり。
時代が変わり機器の充実と発表力に感心した。
 - 時間配分の旨さがあり、ICTの利用活用もよし。
 - 今回は「調べ学習」を重点にいろんな情報サイトの精査力の育成を目指した。
- #### 2. 各学年分掌から進捗状況報告について
- 共生（9名）のうち部活動1年生3名、2年生2名で半数以上の参加は良いこと。
 - 遅刻・生活指導・進学指導について、生徒自身の自覚を促す努めにご尽力を。
 - 進路変更について、高校生活に定着し100%で卒業することが望ましいと考え、我々の（中学）指導も行き届かないところもあるが、相互に連携密にしながら続けていけばよいと考える。
 - 遅刻については増加傾向。各学年よりも全体的に増加傾向にあるのではないかと。
指導方法についてお聞きしたい。

- 生徒部としては、ペナルティ制を課すことはしていない。生徒事情により決意文書の作成をさせながら自我を見つめなおす指導を行っている。
遅刻指導の集会参加率は、ほぼ100%である。
- 新カリキュラムの問題（観点別の評価）について
- 教務部としては、各高校のレベルに応じて教科ごとに委任して評価の見方について調整をしているが、実際は検証中というところである。1年を経て振り返りする。

3. スクールミッション作成について

- 大きな目標の前に具体的なもの(?)があれば良いのかなと思った。
タイ国では大麻解禁になって、高校生にとってどう影響があるのかなと思っており、それらを研究する学校もあるのかなと思います。
そういった具体例があれば、そこに大きな大局的なものがついてくるので、具体的なターゲットを掲げていただければよいかと、場当たりの意見ですみません。
- 校長 「当ミッションについては、今後10年間の本校の大きな方向性としてとらえていただければと思います。」
- どういう生徒像を育てようとしているのかという理想の生徒像についてわかりづらいかと思う。誰しもがわかるキャッチフレーズなど、明確なところがあれば良いのではないかと思う。
 - 「なりたい意欲を学習に」の言葉がわかりにくい。何となく意味は分かるが、「なりたい意欲が「学力」に結び付けているが、そうなのか。
「学力（習）」は、そこに評価がついてくるのではないかなと考える。
それと3つのスローガンは、普通というか一般的というか、つばさ高校でなくてもよいのかなと感じる。
これが、北摂つばさ高校らしさなのでしょうか？
北摂つばさらしさ（「スローガン」等？）を考えてもらえればよいのではと思います。

以上